



P R E S S R E L E A S E

台湾で「スーパーグレート」新型モデルの販売を開始

2025年12月16日

- 海外初の展開地として台湾市場に投入
- 新型モデルの先行受注は、すでに100台を突破

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、台湾で大型トラック「スーパーグレート」新型モデルの販売を開始しました。

MFTBC は、台湾における販売代理店及び合弁会社のダイムラー・トラック・アジア台湾(本社:台北市、CEO:パク・ジョンウ、以下 DTAT)との協業により、60年にわたり強固な地盤を築いてきた台湾市場において、「スーパーグレート」新型モデルの販売を通じて台湾市場での大型車の輸送の効率化と安全強化を支援します。

台湾向け「スーパーグレート」新型モデルは、日本国内では2017年以降6年ぶりにフルモデルチェンジし、2023年のジャパンモビリティショーで初披露し発売を開始したモデルです。アジア地域の中でも輸送ニーズが高い台湾が、初の海外導入市場となります。MFTBC の川崎製作所から完成車として輸出します。

企業やフリートオーナーが重視する「安全性」と「利便性」に対応

台湾で販売する「スーパーグレート」新型モデルは、台湾での現行モデルと同じく10.7L エンジンを展開し、大型トラックに求められる高度で広範囲での危険対応をサポートする先進安全装置を搭載しています。

そのひとつ、衝突被害軽減ブレーキ「アクティブ・ブレーキ・アシスト6(ABA®6)」は、走行中に前方認識カメラとミリ波レーダーで先行車両や歩行者との衝突の危険を検知し、マルチファンクションモニターでドライバーに警告し、ブレーキを作動して衝突被害軽減をサポートします。「アクティブ・サイドガード・アシスト2.0」は、車体右側にもレーダーを搭載し、左折時にくわえて、右折時に自転車や歩行者を検出した場合に、警報音で警告を行います。また、左車線又は右車線への車線変更を行う時に隣のレーンに走行車両がいる場合にも警告を行い、より広い範囲での危険対応をサポートします。

また、発進時に前方に接近する歩行者や自転車を検出し、マルチファンクションモニター上で情報信号または衝突警告信号を発し、衝突の危険を警報する低速走行時前方衝突警報装置「Front Blind Spot Information System(フロント・ブラインドスポット・インフォメーション・システム)」を装備します。

さらに、稼働中の車両情報をインターネット経由でリアルタイムにチェックできるテレマティクスサービス Truckconnect®を搭載することで、近年、台湾において企業が最も重視する要素とする車両の「安全性」と「利便性」に対応しています。

先行受注は、すでに100台を突破

「スーパーグレート」新型モデルの先行受注は、2025年11月時点ですでに100台を突破しており、MFTBC が台湾の物流や事業運営を支える確かな存在であることを改めて示しています。

次世代の台湾商用車産業への第一歩

DTAT のパク・ジョンウ CEO は、「スーパーグレート」新型モデルの販売開始について次のように述べています。

「今回の販売開始は、台湾の次世代の商用車業界を切り開く重要な第一歩となります。新型スーパーグレートは、ドイツの先進技術と最高水準の安全装備を搭載し、お客様の業務効率性および競争力強化を力強く支援します。また、台湾の輸送産業が国際水準へと歩調を合わせていくことを後押しし、台湾の運送事業者の皆さまと共に、より安全で持続可能な将来を見据えた輸送エコシステムを築き上げてまいります」

ABA ®、Truckconnect®は三菱ふそうトラック・バス株式会社 の商標登録 です。



台湾にてメディア向けに公開された新型「スーパーグレート」

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社 (MFTBC) は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つ FUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開

発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初の SAE レベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

FUSO ブランドについて

「FUSO」はダイムラートラックのブランドの一つです。世界約170の市場において、トラックやバスといった商用車や産業用エンジンを展開しています。90年以上の歴史と日本ならではの品質や熟練技術による効率性や安全性、快適性が特徴です。小型トラック「キャンター」は世界中の様々な市場でトップシェアを獲得しており、日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」をグローバルに展開し、商用車の電動化をリードしています。ブランドスローガン「Future Together」の下、FUSO はお客様とともに安全かつサステナブルな輸送ビジネスを未来へ繋いでいくことを約束します。

DTAT 社について

MFTBC が51%、台湾の商用車販売大手・順益貿易股份有限公司 (Shung Ye Trading Co., Ltd.) が49%を出資して2016年8月に設立した合併会社です。2017年に操業を開始した DTAT 社は台湾市場におけるふそうブランドの総代理店であり、小型・中型・大型トラック、小型バスなど、ふそう製品全般の独占輸入・卸売事業を行っています。ふそう車両は、ノックダウン(KD)キットと完成車の両方で台湾に供給されています。